

拝啓 紫陽花が咲く頃となりました。皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
また新型コロナウイルス感染症も 5 類感染症移行後、少しずつ落ち着きつつあるように見えます。

さて学術集会の準備も着々と進んでおり、現在 プログラムはほぼ確定し、最終段階となっております。そこで、今回、プログラムの一部をお話しし、本学術集会にご講演を引き受けてくださった先生方、力強いサポートを頂いた共催企業様に感謝の意をおつたえするとともに、おおくの会員の皆様、および脊椎・脊髄外科の先生方に本学術集会への期待を膨らませていただきたくご報告いたします。

今回の日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会は
「時を繋ぐ・技術を繋ぐ」Keep inherited, Keep innovative をテーマとし、
そのテーマに沿って以下の企画を用意いたしました。

A 企画：時を繋ぐ技術を繋ぐ Keep inherited, Keep innovative：

その術式のレジェンド・継承者・革新者

B 企画：時を繋ぐ技術を繋ぐ Keep inherited, Keep innovative：

繋ぐべき脊椎手術手技

C 企画：時を繋ぐ技術を繋ぐ Keep inherited, Keep innovative：

その他

です。

シンポジウム

A 企画

時を繋ぐ技術を繋ぐ Keep inherited, Keep innovative

：その術式のレジェンド・継承者・革新者 として

① 腰椎前方（mini-ALIF から LLIF）

② どうする腰椎前弯形成！

③ 椎間孔・外部狭窄の診断・治療

B 企画

時を繋ぐ技術を繋ぐ Keep inherited, Keep innovative

：繋ぐべき脊椎手術手技 として

① 脊椎への前方からのアプローチ

② 頭蓋頸椎移行部手術

③ 頸椎手術

④ 胸椎・腰椎・腰仙椎後方手術

⑤ 疾患に対して（転移性脊椎腫瘍・胸椎後縦靭帯骨化症・腫瘍）

C企画

時を繋ぐ技術を繋ぐ Keep inherited, Keep innovative

: その他 として

- ① 頸椎椎弓形成術の今（頸椎椎弓形成術はいらない？）
- ② Full endoscopic spine surgery (FESS)
- ③ どうする脊椎手術の合併症（血管損傷と出血）

また、脊椎手術の合併症に関しましては、

Spine Leader's Lectureにおいて

DVT/PE／術後感染／硬膜損傷と髄液漏の講演も企画しています。

その道のスペシャリストの先生方が快くご講演をお引き受けくださいました。

特別講演は

佐野茂夫先生（元三楽病院、本学会元理事）、
出沢明先生（出沢明 PED クリニック）、および
安部洋一郎先生（NTT 関東 ペインクリニック科）にお願いしております。

国際セッションでは

Surgical management of Cervical deformity (Head dropped syndrome) と題し

2名の国内演者、2名の海外演者と同時通訳を交えて議論していただきます。

また本セッションの前には**"Cervical deformity"**

Introduction to the Symposium of "Surgical management of Head dropped syndrome"として、2名の先生にご講演いただく予定です。

Debate セッションでは

- ① **成人脊柱変形手術 その問題点**
- ② **骨粗鬆症性椎体骨折に対する instrumentation :**
どの程度の前方支柱が必要か(中下位腰椎を中心に)
- ③ **LLIF-indirect decompression の適応とその限界**
- ④ **腰部脊柱管狭窄症に対する除圧術 顕微鏡 vs 内視鏡 VS 外視鏡**
について演者の皆様に活発な議論をしていただきたいと思います。

また今回は新たな試みとして企画公募を行いました結果、

特別企画

“Full-endoscopic spine surgery (FESS): mastering and teaching the required surgical skills.”として

FESS の技術トレーニング、video、 Human body model が教育に果たす役割などの講演を予定しています。

その他ランチョンセミナー、ハンズオン、Spine leaders lecture など共催企業様の力強いサポートを頂き多数の講演を企画しております。

多くの会員の皆様にご発表していただき、そしてまた多くの脊椎・脊髄外科医の皆様の本学術集会にご参加いただき、記念すべき第 30 回学術集会を大成功に導くことで、皆様のご協力に感謝の意を表したいと思っております。

よろしくお願いいたします。

第 30 周年記念日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会

会 長 渡 邊 健 一

(関東労災病院 脊椎外科 部長)